

会 報

やまばと

(第73号)



発行

社会福祉法人 浄泉会

秦野市渋沢2620-2

TEL 0463 (87) 1188

発行人 西田精吾

E-MAIL

yamabato@galaxy.ocn.ne.jp

URL

http://yamabato.org/

令和二年 新年ご挨拶 社会福祉法人 浄泉会 理事長 西田精吾

新年明けましておめでとうございます。
皆様方にはつつがなく新年をお
迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は浄泉会に関わりのある
多くの皆様方には何かと大変お世
話になり誠に有難うございました。
さて、本年は徳仁今上天皇にな
られ、令和二年を迎えるとともに
干支も庚子（かのえね）の子年
ということ、干支の始まりの年
となりました。子の文字は初めか
ら終わりまで物事を全うするとい
う意味があり、また、庚は次世代
の人を育て、社会に貢献する時
期で新しい環境に対応する体制づ
くりをする年でもあるとのことだ
す。

さて、浄泉会では、昨年十一月
に懸案でありました利用者様居室
の改装が完成し、新入浴棟と大型
エレベーターが併せて建設され、
四人部屋の解消がなされ、ほぼ二
人部屋が主となり、利用者様もゆっ
たりと、また、各部屋ともより明
るく快適な環境の創出を行なうこ
とができました。これはやまばと

学園の後援会の皆様の開園時から
積み立てた浄財と法人の資金を合
わせて可能となったもので、利用
者の皆様にとつては何よりの贈り
物となりました。

併せて職員にとつてもより快適
な環境で仕事ができることとなり
喜んでいるところです。利用者様
の高齢化と重度化は進みますが、
本年の浄泉会の目標語であります
「切磋琢磨」で職員がお互いをよ
く尊重し、よく学び、利用者様の
行動特性を深く理解しながら、気
配り、目配りを行い「やまばと学
園信条」に則り、心を合わせて、
力を合わせて、利用者様主体の経
営を行なつてまいります。

さて、昨年は、東北、関東、中
部に渉る地域で暴風雨や記録的豪
雨をもたらした台風等により、河
川氾濫、土砂災害、浸水、停電、
断水等が広範囲におこり、それ
による福祉施設の被害は高齢者施設
四十一か所、障害者施設四十一か
所、児童施設四十か所とありまし
た。（福祉新聞）

浄泉会では過日短時間ではあり

ましたが、事務所エリアで停電に
なり、周りが真っ暗になりました。
非常時の対応を再度確認する良い
機会となり改めてその重要性を再
認識したところでした。

話は変わりますが、現在厚生労働
省が主体となつて「社会福祉連携
推進法人」の創設が進められてい
ます。増大する福祉ニーズに対応
できるよう、また、社会福祉法人
の経営基盤の強化を目的とする新
制度ですが、その推進を見守つて
まいりたいと考えています。

新しい年を迎えるにあたり当法
人の保護者の皆様、峠地区の皆様、
また、各グループホームの地域の
皆様にはいつも温かく見守つて頂
き、心から感謝と御礼を申し上げ
ます。併せて各行政の皆様におか
れまして引き続きよろしくご指
導、ご鞭撻のほどお願い申し上げ
まして新年のご挨拶とさせていただきます。
だきま



令和二年 新年ご挨拶

副理事長 岡部 一郎

明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆さま方におかれましては、穏やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は浄泉会の活動に対しまして、温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は令和という新たな元号に変わり、九月二十日に開催されました理事会において副理事長に選出され就任いたしました。

また、浴室棟の新設工事、既存施設のリニューアル工事が完了し、利用者様により快適な環境をご提供できることを嬉しく思います。

一方で、日本各地で災害に見舞われ、過去の経験が通用しないと言われた台風もここ数年続けて発生していて、箱根では一日の雨量が全国歴代一位を記録するなど当法人の近隣でも災害が発生しています。各鉄道会社では一昨年に続き、首都圏での計画運休もありました。地震も福島沖や熊本など各地で多く発生しました。

当法人といたしましても、災害

への備えを再確認しなければなら

ないと感じております。災害が起こるたび人々の支え合い、助け合いの大切さを実感しますが、その大切さは本来、災害時以外でも必要になるものです。国でも地域共生社会の実現が謳われております。どのような状況においても、支え合い、助け合いの地域づくりが期待されています。

本年も皆さま一人ひとりのお力添えを賜りながら、やまばと学園信条のもと、職員一丸となつて着実に歩みを進めてまいります。

引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。



副理事長 岡部 一郎

新年挨拶

保護者会 会長 水谷 孜

明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。

福祉行政関係法の中で、利用者たちは、障がい者手帳で障がいの重軽度判定を受け、支援区分判定で、日常生活支援を受けています。津久井事件以降意思疎通支援が重要視され、多くの場所では意思疎通支援の言葉を聞くようになりました。ただ心配なことは、具体的支援が区分判定（法律）の中で意思疎通支援（人権）が生かされていくのか、意思疎通支援（人権）が区分判定（法律）より優先されるのかということです。現行法においては、支援区分で支援費が決まるが、多様な個性を重視する意思疎通支援の中で支援が行なわれていくとき、職員の方々に大きな負担がかかっているのではないかと心配しています。私たち保護者は、親も及ばない親身な支援を日常的に行なっておられることに感謝の気持ちを持って、保護者が協力出来る事は全面的に協力していきます。

謹賀新年

はとの会 会長 加藤 明子

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのことと思っております。

大リニューアル工事も終わり、利用者は玄関を始め、居室、デイルーム、広い浴室、メンバー交代など、心身ともに喜んでいる事でしょう。

ここまで出来たのも会員の皆様と多くの賛助会員の皆様のご協力があったからです。本当にありがとうございました。これからも宜しくお願いします。

支援員が足りない中、本当に各々の持ち場を献身的に支援して頂き頭の下がる思いです。中でも、施設奥のない事に驚かされます。利用者の衛生面がしっかりサポートされているからだと思えます。今後利用者の方々の心身の支援を宜しくお願いします。

私共もコツコツと会員を増して頑張つて行こうと思っています。今年もどうぞ宜しくお願いします。

お疲れ様会
生活支援課 係長 佐藤 恵

十月十八日、半年に一度の作業収入還元金支給日を迎えました。半年の成果は三千百五十円です。金額をみて喜んだ方、もっと沢山欲しかったと思う方、お金の概念のない方、様々な表情を見て知ることができました。

そこで、一階フロアでは、還元金支給日は誰もが楽しめて分かりやすい日にしたいと思い、お疲れ様会を開催することにしました。

内容は、皆さんで大好きなパンを食べようと決め、秦野市内の就労継続支援B型の『にこにこパン工房』の沢山あるメニューの中から、食べたいパンを選んでいただきました。いつもはコーヒークーパージュですが、今回はコーンポタージュを用意し、普段あまりない組み合わせにしてみました。

会の始めには半年間お疲れ様でしたと皆で乾杯し、次回も頑張っておいしい物を食べようと言いました。誰でも食べることはいくつになっても嬉しいですよ。



一階(あおば)食事会
生活支援課 主任 菊地孝允

令和元年十月五日に食事会を行いました。利用者二十名、家族十三名。職員八名で、やまばと通所センターを借りて行いました。

今年度はフロアのリニューアル工事もあり、フロア別での食事会となった為、ピザや、お寿司、唐揚げやポテトなどのデリバリーを注文しました。

普段の食事では食べる事の出来ないメニューを皆さん美味しく召し上がっていました。中でもお寿司やピザは好評で、アツという間に無くなってしまいました。

昼食後は、新しくリニューアルされたフロアのお披露目を行いました。家族の皆様は、綺麗になったフロアを見学され、利用者とのひと時を過ごしました。



デイルーム



新入浴室

動物園外出
生活支援課 山本 伸司

十一月七日に動物園外出を行いました。

今年度の外出は動物園に行ってみたく希望を出し、企画担当を任せました。場所は外出実績があり、一度行ってみたかった富士サファリパークを選びました。

当日は現地が少し寒かったものの、天気にも恵まれ、サファリゾーンを車で走りながらライオンやトラを見学しました。動物が好きな利用者様は動物を見て楽しんでいましたが、私も色々な動物を見ることができたので、楽しく過ごせました。



次回は動物を見るだけでなく、動物と触れ合えるようなことがあればもっと面白いのではないかと思います。

公用車納車
(中外製薬・共同募金)

今年度の中外製薬株式会社在宅福祉助成事業・移送サービスカーの寄贈事業の助成先団体としてやまばと学園が選ばれ11月5日に寄贈式がやまばと学園で行われ車輛が納車された事をご報告します。



中外製薬在宅福祉助成事業寄贈式の様子

平成30年度共同募金に配分申請をした事業活動用車輛購入事業について今回配分決定していただき、車輛が12月23日に納車された事をご報告します。両車輛共に利用者の方々にとって有意義に活用させていただきます。職員一同感謝致します。

共同募金助成金にて納車されたハイエース



共同募金助成金にて納車されたハイエース

ボランティア便り

令和元年十月〜十二月

貴重なお時間をさいて、行事等ボランティアにお越しいただきました。

○散歩ボランティア

秦野カトリック教会 様

○フルートサークルアリス 様

(順不同)

ボランティアの皆様、ご協力いただき有り難うございました。

ご寄附をいただいた方々のご紹介

令和元年十月〜十二月

貴重な浄財をご寄附いただきました。有難うございました。

○やまばと学園保護者会 様

○株式会社ブルミッシュ 様

○悠トピア家族会 様

○花ことば歌謡教室 様

○三島 卓穂 様 (順不同)



役員の状況

◆役員の就任

令和元年9月20日付

副理事長 岡部 一郎

令和元年10月21日付

評議員 佐竹 泰三

令和元年10月25日付

理事 三浦 公男

令和元年12月13日付

評議員選任解任委員

武田 昌幸

◆役員の退任

令和元年9月25日付

理事 中尾 信利

令和元年10月21日付

評議員 三浦 公男

令和元年12月13日付

評議員選任解任委員

大澤 康人

人事異動

令和元年十月〜十二月入職者等

◎入職者

総務課調理担当 山本いつ子

(令和元年12月20日付)

◎復職者

総務課総務担当 西田 一子

(令和元年11月16日付)

計 報

次の方が令和元年十一月七日にご逝去されました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

やまばとグループホーム

ピジョンハウス

木幡 文子 様

編集後記

新年明けましておめでとうございませう。

今年もよろしくお願い致します。

寒い日が続きますが、利用者様職員共々風邪にも負けずに毎日元気に過ごしております。

浄泉会やまばと学園利用者支援「はとの会」の会員・賛助会員を募集しています

浄泉会やまばと学園

利用者支援「はとの会」

■「浄泉会」法人施設やまばと学園等の利用者支援サービスを効果的に実現するため、利用者の福祉支援サービスを補完充実する。

法人会員 年額1口 20,000円

個人会員 年額1口 10,000円

賛助会員 年額1口 3,000円

会員には会報「やまばと」が郵送されます。

振込みは郵便為替で(手数料は本会負担)

どこの郵便局でも00220-5-14491です。

口座名は 浄泉会やまばと学園後援会

新しく会員になれる方はご住所を電話等でお知らせ頂こうお願い致します。

やまばと学園内 はとの会担当

〒259-1322 神奈川県秦野市浅沢2620-2

Tel 0463-87-1188 Fax 0463-87-6876

やまばと学園

リニューアルしました!

ホームページ

<http://yamabato.org/>

メールアドレス

yamabato@galaxy.ocn.ne.jp

さて、「令和」という新しい元号での初めてのお正月を、新たな希望を持って迎えられたことと思います。

東京オリンピックにも触発され健康で楽しく過ごしていきたいと考えております。今後も温かく見守っていただけたら幸いです。

(石田)